

姫路港～坊勢島航路生活交通確保維持改善計画策定調査業務委託 仕様書

1 業務名

姫路港～坊勢島航路生活交通確保維持改善計画策定調査業務委託

2 業務目的

姫路港～坊勢島生活交通確保維持改善計画及び航路改善計画を策定することを目的とする。

3 航路概要

家島町人口	4,741 人（令和 2 年 6 月末現在住民基本台帳登録人口） うち坊勢島人口 2,141 人
航路	姫路港～坊勢島
定期航路の概要	① 航路区間 姫路港 ⇄ 坊勢島 ② 運航事業者 坊勢輝汽船(株)（R2.3 月末まで 2 社運航） ③ 運航便数 12 往復 24 便/平日・13 往復 26 便/土日 ④ 運航船舶 3 隻 ⑤ 所要時間 約 32 分 ⑥ 運航距離 約 20km ⑦ 年間旅客数 234,033 人（令和元年度:2 社運航時実績）

4 業務内容

(1) 地域の現状把握及び住民の活動実態の把握

① 地域の現状把握

家島諸島における坊勢島の位置づけや人口動態、産業構造・就業構造、日常生活に関連する施設の分布状況など、地域の現状について整理する。

② 住民の活動実態の把握

既存の調査結果などに基づき、坊勢島居住者の日常生活における活動（通勤・通学、日常的な買い物、定期的な通院など）の実態を整理する。

(2) 航路の現状把握

姫路港～坊勢島航路のサービス水準（便数、ダイヤ）、使用船舶の状況、利用者数の経年推移、便ごとの利用状況など、姫路港～坊勢島航路の利用実績について整理する。

また、実態から把握できる航路の必要性、重要性について整理する。

(3) アンケート調査による航路利用実態の把握

利用者に対するアンケート調査を実施し、姫路港～坊勢島航路の利用者の属性、利用目的、行き先、利用頻度、利用にあたっての問題点などを把握する。

(4) 経営診断

運航会社である坊勢輝汽船(株)の財務状況や収支状況、収支の内訳について整理し、経営状況について分析する。また、これまで運航していた坊勢汽船(株)及び輝観光から得られる情報を元に平成 30 年度、31 年度の収支状況、実績等について整理する。

(5) 検討課題の整理

以上に示した現状把握の結果に基づき、姫路港～坊勢島航路の現状と問題点を整理するとともに、航路の運航を維持するために解決すべき課題を整理する。

(6) 航路改善計画及び生活交通確保維持改善計画の策定

姫路港～坊勢島航路を継続して運航するために、あるいは航路の収支を改善するため、適切な航路のサービス水準（便数・ダイヤ、運賃など）と実施すべき施策を具体化する。

その結果を航路改善計画としてとりまとめる。それを踏まえて生活交通確保維持改善計画案を作成する。

(7) 坊勢島～家島航路について、姫路市離島航路補助金交付要綱第3条第1項に係る補助金の算出について、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第30条に定める補助対象経費により算出できるよう整理する。

(8) 協議会の開催等

検討に当たっては、地方公共団体（兵庫県、姫路市）、交通事業者（坊勢輝汽船㈱、坊勢渡船）、国（神戸運輸監理部）、住民等で構成する協議会を3回程度開催する。この協議会の補助及び委託業務に係る資料作成する。

5 注意事項

- (1) 調査内容については、生活交通確保維持改善計画認定申請書記載事項を満たす等、国土交通省が認める要件を満たすこと。
- (2) 本業務の履行にあたって収集する個人情報については、個人情報の保護に関する法律に基づき、適切な保護・管理を行うこと。
- (3) 委託料の支払いは、姫路市補助金が交付された後とする。

6 契約予定期間

契約日の翌日から令和3年3月15日まで

7 成果品

- (1) 打合記録簿・調査報告書・会議説明資料・会議内容記録簿 随時
- (2) 航路改善計画案 最終会議まで
- (3) 成果報告書・航路改善計画及び生活交通確保維持改善計画認定申請書（完成原本）
履行期限まで
- (4) 姫路市の「電子納品に係る手引書（案）土木業務委託編」に基づき、電子納品を行うこと。

8 問い合わせ先

姫路市地域公共交通会議離島航路分科会事務局
（姫路市都市局交通計画室） 担当：松本、大西
TEL：079-221-2493 FAX：079-289-0588